

ようご

あいさつ

岩手県学校保健会養護教諭部会会長

上舘 睦子



日頃より本部会に対し、多大なるご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対応については、それぞれの地域や実状に応じ、学校保健の中心的立場として日々ご尽力されていることと思います。しかしながら養護教諭の職務は、言うまでもなく感染症対策だけではなく、日常の健康観察をはじめ児童生徒の対応及び心のケア、環境整備、学校体制によっては給食・清掃等様々な業務を担っています。今年度は中止や延期、内容の変更を余儀なくされた学校行事

も多く、「新しい生活様式」を取り入れながらの実施に養護教諭の苦労は容易に想像することができます。そのような状況を踏まえて、事務局では新型コロナウイルス感染症対策の一環として会員の皆様を対象にアンケート調査を行いました。お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。アンケート調査を行うことにより地域の実状を把握することに加え、養護教諭として困っていることがあるならばその声を聞かせてほしいという思いで実施した次第です。HPからも調査に入ることが出来るよう整えることができましたので、一人でも多くの声を聞かせてほしいと思っています。皆様からいただいた回答につきましては、事務局でまとめ、お知らせいたします。そしてその調査結果を基に部会として出来ることは何かを考えながら今後も皆様と共に進んでいきたいと思っております。この先も油断を許さない状況下ではありますが、引き続き、ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

「いわての復興教育」と「新型コロナウイルス感染症」対策について

岩手県教育委員会保健体育課

指導主事 平澤 恒子

新型コロナウイルス感染症の感染者が増加の一途をたどっていた中、全国で唯一「感染者ゼロ」を維持し続けていた岩手県。7月29日に感染者が初めて確認され、その後感染者への誹謗中傷や差別発言があったことから、未知の感染症である新型コロナウイルス感染症が、我々の生命を脅かすだけでなく、日常生活の維持を困難にさせ、人と人とのつながりまでも分断するという事に私自身非常に驚きました。

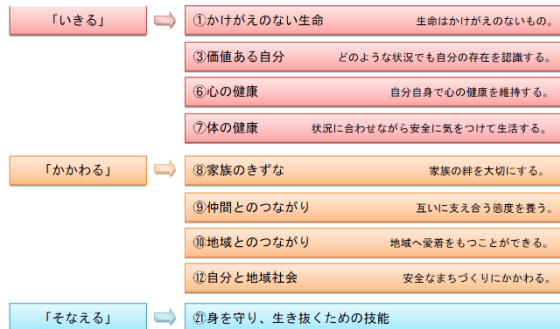
各校では、今も「新型コロナウイルス感染症」拡大防止の対策を模索しながら、教育活動を進めているところと思います。

「いわての復興教育」と「健康教育」

岩手県教育委員会では、「郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するために、各学校の教育活動を通して3つの教育的価値（いきる・かかわる・そなえる）を育てること」を目的に「いわての復興教育」を進めており、「いわての復興教育だより第52号（令和2年4月16日発行）」において、新型コロナウイルス感染症に関連した取組例を紹介しています。

「いわての復興教育」と「新型コロナウイルス感染症」対策との関連

「いわての復興教育」と「新型コロナウイルス感染症」対策との関連を考えてみたいと思います。3つの教育的価値と具体の21項目に、次のように関連付けることもできると思います。



取組例の3及び4は、子ども達の思考力・判断力・表現力を育む内容、取組例の4及び5は、自分自身が行う感染症予防やその取り組みが家族や地域住民の命と健康を守ることにつながることを理解させる内容を提示しています。

「新型コロナウイルス感染症」の取組例

【取組例3】 情報、予防方法を基に考えてみよう。

- ① 右の教室で重点に消毒・殺菌する必要のある場所を選び、「〇印」をつけよう。
- ② 「〇印」をつけた理由を交流してみよう。



※ 写真は、例です。
(体育館、トイレ、特別教室などいろいろな場所を選ぶこともできます。)

【取組例4】 家庭でできる新型コロナウイルス感染予防を考えてみよう。

- ① あなたが実施している新型コロナウイルス感染予防をまとめてみよう。
- ② あなたの家庭で実施できる新型コロナウイルス感染予防を考えてみよう。

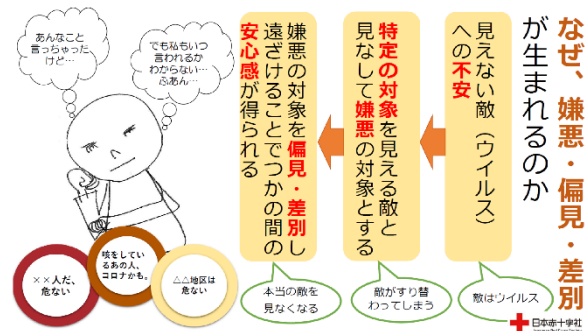
【取組例5】 家庭で5日間過ごすことになりました。

あなたは、どのように過ごしますか。5日間の計画を立ててみよう。

「新型コロナウイルス対応、心のサポート授業」

「新型コロナウイルス感染症」の影響により、様々な学校行事や各種大会等が中止または延期、縮小が進められ、教員にとっても、当たり前であった学校生活が当たり前でできない喪失感があったかと思われすが、これらの学校行事や各種大会等を目標として全力で取り組んできた子供たちにとっては、我々大人以上に「つらい体験」になったかもしれません。

この「つらい体験」に出会ったときにどのように対処すればよいかを学ぶ「新型コロナウイルス対応、心のサポート授業」について、「いわての復興教育だより第53号（令和2年5月26日発行）」で紹介しています。中学校、高校用は「病気」「不安」「差別」のテーマで学ぶことができます。



ぜひ、これらの資料等を健康教育にも役立てていただき、未知の感染症である新型コロナウイルス感染症だけでなく、これからの予測困難な状況でも「生き抜く力」を育てていきたいと思ひます。

感染症対策も復興教育も、校内だけでなく、家庭や地域、関係機関等との連携のもとに進めていくことが重要です。ますます多岐にわたる養護教諭の職務ですが、養護教諭同士のつながりも大切にし、ともにがんばっていきましょう。

令和3年度 岩手県養護教諭研究大会

班別協議会で発表する地区の研究状況

《盛岡》 盛岡市学校保健会養護教諭部会

「保健室来室記録」の作成と効果の検討
～カードを活用した保健室来室者対応を通して～



これまで本研究班では、来室した子どものスクリーニング機能を果たす「来室カード」と、アセスメントに必要な情報収集の助けとなる「健康相談カード」の試案を作成した。その後活用の効果について省察し、カテゴリー化を行いました。記録を活用することは、単に子どもの心身の状態や困り感を把握することにとどまらず、支援方策を打ち出す糸口になり、その後のチーム支援を進めるための重要な足掛かりとなっています。今後も記録を活用した来室者対応を実践し、実践結果をまとめていきます。



《二戸》 二戸市学校保健会養護教諭部会

『養護教諭の専門性を生かした健康相談』
～肥満傾向児童生徒の自尊感情向上及び肥満度低下のための効果的な支援～

初年度(平成29年度)

研究テーマの決定と研究計画作成、予備的調査、論文研究、研究テーマに関わる言葉の定義の検討KJ法を用いてのディスカッション

2年目(平成30年度)

各校での実践及びまとめ、グループ協議をとおしての情報共有、支援方法の検討や相談ガイドの作成、研究に関する学習会

3年目(平成31年度～)

研究のまとめ



《岩手》 葛巻町学校保健会養護教諭部会

『チーム健康くずまきのスキルトレーニングを取り入れた保健指導』

養護教諭からみた葛巻町の児童生徒の健康課題としてコミュニケーションスキルの低さがあげられました。そこで、小中高や行政との連携が取りやすい環境を活かし、「チーム健康くずまき」として、養護教諭が行う保健指導や保健活動の中に、計画的にスキルトレーニングを取り入れました。主に、小学校ではコグトレの活用、中学校では性指導の中にスキルトレーニングを取り入れて、スキルの積み重ねを実践しています。



《紫波》 紫波町学校保健会養護教諭部会

『生涯にわたり自らの健康づくりに取り組む児童生徒の育成』

～ 学級担任等との協働を目指したプロセスレコードの活用～



今年度は、養護教諭が対応した児童生徒と学級担任等との関わり方について、養護教諭自身のこれまでの実践を振り返る活動を行っています。養護教諭がどのように感じ、どのような意図で行動したのかを振り返るためのアセスメントシートを作成して活用しながらグループワークを行うことで、自分の考え方の癖や別な対応の仕方に気づくことにより、児童生徒や学級担任等との関わり方のスキルアップを目指しています。また昨年度に引き続き、『みんな紫あ波せ☆ミニ通信』を発行し、健康について考える情報を保護者にお知らせしています。

《県立・市立・私立》 岩手県高等学校教育研究会学校保健会釜石気仙支部

『肥満予防と改善に向けた保健指導資料』

岩手県、そして釜石気仙地区では、肥満が健康課題の一つとなっていることから、肥満の改善や生活習慣の見直しを図るための指導方法や手立てを探ることを目的に、生徒・保護者向けの指導資料を作成しました。8 ページ 4 枚を両面カラー印刷した観音折りのパンフレットと 1 枚のポスターにしました。作成するにあたって、肥満の生徒のみならず、誰でも生活習慣を見直せるものになるよう留意しました。個別指導や掲示物として利用しています。



令和二年度 新採用の先生方(敬称略)

高橋 杏実	盛岡市立松園小学校	太田 菜々子	北上市立笠松小学校
駒井 歌穂	盛岡市立生出小学校	尾形 朋美	北上市立東陵中学校
深澤 優歩	盛岡市立巻堀小学校	蛭子井 楓	一関市立赤荻小学校
住吉 可帆	盛岡市立上田中学校	大島 保乃実	一関市立花泉小学校
山口 恵理菜	盛岡市立玉山中学校	熊谷 百華	一関市立大原中学校
田口 美喜子	八幡平市立大更小学校	今野 優真	一関市立興田中学校
菊池 侑美	八幡平市立松尾中学校	安藤 琴音	一関市立東山中学校
阿部 光	八幡平市立西根第一中学校	伊藤 ほのか	大船渡市立赤崎小学校
中村 姫莉	雫石町立七ツ森小学校	菅野 茜	陸前高田市立気仙小学校
及川 さくら	葛巻町立小屋瀬小学校	阿部 理沙	大槌町立吉里吉里小学校
三田 琴子	花巻市立太田小学校	高橋 真帆	久慈市立夏井小学校
戸塚 洋美	滝沢市立一本木小学校	田中 佐季	久慈市立侍浜小学校
松川 晴香	滝沢市立姥屋敷小・中学校	山平 朋美	久慈市立宇部小学校
半田 優月	遠野市立附馬牛小学校	村田 杏果	久慈市立大川目中学校
八重樫満里奈	遠野市立遠野西中学校	星合 麻結	一戸町立鳥海小学校
加藤 瑞穂	北上市立黒沢尻北小学校	久保 有里	岩手県立盛岡聴覚支援学校
		佐藤 麻美	岩手県立大野高等学校



【広報部より】

今年度から総会書面議決により「会報ようご」はメール配信となります。各自印刷の上、お手元をお願いします。「会報ようご」を発行するにあたりご寄稿いただいた皆様に感謝申し上げます。